

## 広島大学 病院輸血部 2020 年業績

### 1) 論文

- 1) Shintani T, Iwata T, Okada M, Nakaoka M, Yamasaki N, Fujii T, Shiba H : Clinical Outcomes of Post-exposure Prophylaxis following Occupational Exposure to Human Immunodeficiency Virus at Dental Departments of Hiroshima University Hospital. *Curr HIV Res*,18(6):475-479,2020
- 2) Teruhisa Fujii, Tomie Fujii, Hideyuki Takedani. Long-term impact of haemarthrosis on arthropathy and activities of daily living in Japanese persons with haemophilia. *Haemophilia*, 26(3):e124-127, 2020.
- 3) Teruhisa Fujii, Tomie Fujii, Naoya Yamasaki, Seiji Saito. Weather changes leading to bleeding in arthropathic joints among individuals with haemophilia: symptoms of meteoropathy? *Haemophilia*, 26(6): e346-348, 2020.
- 4) T.Fujii, T.Fujii, N.Yamasaki, T.Inoue. Plasma factor VIII activity measured by coagulation one-stage and chromogenic assays in patients with hemophilia A treated with emicizumab. *Res Pract Thromb Haemost* 4 suppl 443, 2020.
- 5) N.Yamasaki, T.Fujii, K.Kajihara, H.Nakagawa, M.Yokozaki. The Parameters of Modified Clot Waveform Analysis Using the Plasmas of Hemophilia A Patients Treated with Emicizumab. *Res Pract Thromb Haemost* 4 suppl 518, 2020.

### 2) 学会発表

- 1) 山崎尚也、藤井輝久、井上暢子. インヒビター非保有及び保有血友病 A 症例における Emicizumab 変更例の検討. 第 42 回日本血栓止血学会学術集会. 2020 年 6 月. 紙面.
- 2) T.Fujii, T.Fujii, N. Yamasaki, T. Inoue. Plasma factor VIII activity measured by coagulation one-stage and chromogenic assays in patients with hemophilia A treated with emicizumab. XXVIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis. 2020 年 7 月 11 日～15 日. WEB
- 3) N. Yamasaki, T.Fujii, K. Kajihara, H. Nakagawa, M. Yokozaki. The Parameters of Modified Clot Waveform Analysis Using the Plasmas of Hemophilia A Patients Treated with Emicizumab. XXVIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis. 2020 年 7 月 11 日～15 日. WEB
- 4) 山崎尚也、梶原享子、中川浩美、横崎典哉、藤井輝久. Emicizumab 使用血友病 A 患者における凝固能評価. 第 82 回日本血液学会学術集会.2020 年 10 月 10 日～11 月 8 日.WEB
- 5) 藤井輝久、山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、齋藤誠司、佐々木美希、宮原明美、木下一枝:ウイルス学的寛解を継続していても CD4 数が増加しない原因に関する

る探索的研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB

- 6) 菊地正、蜂谷敦子、西澤雅子、椎野禎一郎、俣野哲朗、佐藤かおり、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、瀧永博之、岡慎一、古賀道子、長島真美、貞升健志、近藤真規子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、須藤弘二、寒川整、中島秀明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂寛、渡邊珠代、今橋真弓、松田昌和、重見麗、岡崎玲子、岩谷靖雅、横幕能行、渡邊大、小島洋子、森治代、藤井輝久、高田清式、中村麻子、南留美、山本政弘、松下修三、健山正男、藤田次郎、杉浦互、吉村和久:国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 7) 佐々木美希、宮原明美、柿本聖樹、井上暢子、山崎尚也、喜花伸子、杉本悠貴恵、田中まりの、石井聡一郎、大東敏和、藤井健司、畝井浩子、大成杏子、村上英子、高田昇、藤井輝久:HAND による服薬アドヒアランス低下が疑われた患者へ「動画」撮影による服薬支援を行った一症例. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 8) 大成杏子、村上英子、佐々木美希、宮原明美、藤井輝久:「HIV/AIDS ソーシャルワーカー・ネットワーク会議」からみえる中国四国ブロックの課題. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 9) 山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、藤井輝久:BIC/TAF/FTC レジメンが脂質に及ぼす影響について. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 10) 田中まりの、石井聡一郎、藤井健司、大東敏和、畝井浩子、井上暢子、藤井輝久:ドルテグラビルの薬物血中濃度測定により薬物相互作用のあるカルバマゼピンを他剤に変更した 1 例. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 11) 石井聡一郎、田中まりの、藤井健司、大東敏和、藤田啓子、畝井浩子、松尾裕彰、高田昇、藤井輝久:薬剤師のための抗 HIV 薬服薬指導研修会-アンケートから見た研修会の意義と課題-. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 12) 村上英子、大成杏子、杉本悠貴恵、喜花伸子、佐々木美希、宮原明美、田中まりの、石井聡一郎、藤井健司、大東敏和、畝井浩子、柿本聖樹、井上暢子、山崎尚也、齊藤誠司、高田昇、藤井輝久:知的障害を伴う HIV 陽性者の就労支援において HIV 感染症の知識提供が有効だった事例. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会.2020 年 11 月 27 日～12 月 25 日.WEB
- 13) 野崎晶太、柏原真由、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、小松真由美、矢内綾佳、石井綾佳、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久. 新鮮凍結血漿融解後使用期限変更による廃棄薬剤削減の可能性. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術集会. 2020 年 5 月.紙面
- 14) 小松真由美、野崎晶太、柏原真由、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、矢内綾佳、石井綾佳、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久. 輸血副反応におけるアレルギー反応の解析. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術集会. 2020 年 5 月.紙面.
- 15) 柏原真由、小松真由美、野崎晶太、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、矢内綾佳、石井綾佳、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久. 自己抗体の吸着は LISS 法を標準とすべき?～同種抗体の同定に苦慮した症例における考察. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術集会. 2020 年 5 月.紙面.

- 16) 齊藤誠司、山崎尚也、藤井輝久、井上暢子。エミシズマブ導入期にⅧ因子製剤を併用し運動強度の高いスポーツを継続できた青少年期血友病 A. 第 42 回日本血栓止血学会学術集会. 2020 年 6 月. 紙面.
- 17) 石井綾佳、柏原真由、小松真由美、野崎晶太、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、小川茂樹、矢内綾佳、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久. MTP 導入を踏まえた本院の輸血製剤の使用状況. 第 65 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 2020 年 9 月 12 日. WEB.